

令和4年度 第2回学校関係者評価委員会 報告書

認定こども園かいけ心正こども園

園長 吉田 典穂

○評価日 令和5年2月27日(月) 10:30~11:50

○場所 かいけ心正こども園 会議室

○出席委員

学校関係者評価委員	所属	出欠
A委員	小学校 校長	○
B委員	公民館 館長	×
C委員	主任児童委員	○
D委員	連携保育園 園長	○
E委員	保護者会 会長	○

○園からの資料・・・別紙参照① 令和4年度 自己評価公表シート

別紙参照② 令和4年度 学校評価保護者アンケート

○園からの説明に対して、学校関係者評価委員の皆様からの意見

【C委員】

- ・今年度初めて、入学前の年長組保護者対象(希望者)で、小学校入学への不安を少しでも解消するため、地域活動として小学校の先輩お母さんと茶話会を開催する。小さな疑問や質問などにも気軽に答えられる場になればと思っている。また今後、他の地域にも広げていければと思っている。
 - ・園では、子ども一人一人の発達に向き合っていて関わっていると思うが、小学校や行政との連携はどうか。また、保護者への対応はどうか。
- ⇒子どもの発達については、市の相談機関を通じて、園訪問をしてもらい、専門家からの助言を頂く機会がある。その際、相談機関と園と保護者の3者で話し合いをしている。また、必要あれば、小学校の先生にも様子を見に来てもらう機会を設けている。

【D委員】

- ・今年度のバス閉じ込め事件や保育士虐待事件を受けて、実際に、保育園でも「人権擁護チェックシート」を実施してみた。自分たちの子どもへの接し方について考えるきっかけになった一方で、我が子のように接していた関わり方が、チェックシートの項目に入っていて、今後どのように子どもたちに接していいのかわからなくなったり、何もできないと悩んだりする保育士もいた。保育施設では、子どもの人権擁護も守りながら、親の擁護もしていかななくてはいけない家庭もあるので、保育士にとって、日々の保育をしていくことが大変である。

【E 委員】

- 先生たちと直接話を聞くとわかることも、コロナ禍だからなのか、園の先生がどういう思いで保育をしているのか、また子どもたちにどういう思いで関わっているのかが伝わっていない気がする。普段、夜遅くまでコロナ対応をしたりすることもある中で、園の準備をしたりと、園の苦勞をどうやったら伝わるのかと思う。

【A 委員】

- 自己評価については、数字では昨年より低いが、この評価を今後に活かして頂きたい。
- 卒業式のマスク着用について、教育委員会からの通知を基に、各小学校で検討し実施する予定である。今後のマスク着用やコロナの方針は、5 類になるまでに出るのではないかと思う。
- 入学前の説明会について、小学校では「オープンスクール」が始まって、入学前の保護者に学校に来てもらう機会が 3 回になり、以前より回数が増えた。その際、PTA の方と入学前保護者が集まって座談会を行い、そこで保護者間にあるルールを伝える場がある。とても好評である。
- 今年度は、小学校と園と連携しようとしていた時期が、ちょうどコロナが流行していたこともあって計画が実施できなかった。来年度こそはできるのではないかと思う。

⇒園からの回答

上記のようなたくさんのご意見を頂きましたので、本年度の園運営や保育に活かしていきたいと考えております。

以上